

令和3年度

政務調査研究報告

公明党飯田市議会

報告者 宮脇邦彦

視察先・調査事項

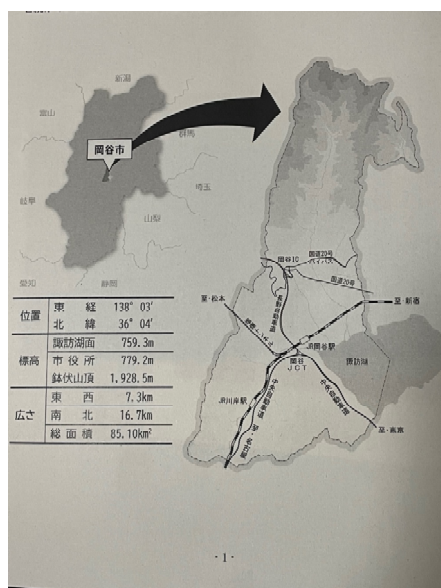
1.「はつらつ岡谷スポーツプラン」

日時 令和3年12月20日10時00分～12時00分
場所 長野県 岡谷市
説明 スポーツ振興課 小松 隆広 氏、小口 康生 氏

2.「女性のデジタル人材育成について」

日時 令和3年12月21日13時00分～15時00分
場所 長野県 塩尻市
説明 官民連携推進課 古畑 久哉 氏
塩尻市振興公社 中澤 友義 氏

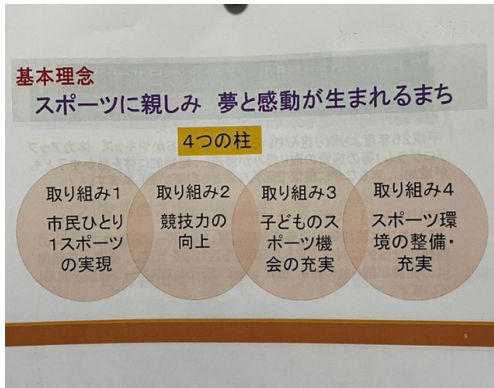
「はつらつ岡谷スポーツプラン」 ～スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち～



長野県 岡谷市の概要

- ・人口約48,000人
- ・面積約85km²
- ・昭和11年4月岡谷市制施行
- ・市木「いちい」
市花「つつじ」
- ・地域産業
超精密加工技術は高い評価

★岡谷市～『これからの取組み 5年後の目指す姿』～



【取組み1】市民ひとり1スポーツの実現

市民誰もが「する」「みる」「ささえる」といった
様々な形で積極的にスポーツに参画

【取組み2】競技力の向上

2028年の第82回国民体育大会と第27回全国障がい
者スポーツ大会が長野県で開催決定。

市民意識高まる

【取組み3】子どものスポーツ機会の充実

「かがやけ おかやキッズ 体力アッププログラム」等
の浸透で継続的に体を動かす子ども増加

【取組み4】スポーツ環境の整備・充実

スポーツ施設のこれからの課題に個別施設計画を策
定し、整備や情報提供の充実を図る

【取組み1】市民ひとり1スポーツの実現



- 市民のライフスタイルに応じた「するスポーツ」
- 「障がい者スポーツ」の推進
- 「みる」スポーツの普及



- ・おかやファミリースポーツプログラム
遊びを通じた親子体験型イベント
- ・「元気いきいき」岡谷市シニアスポーツデー
65歳以上対象に4回/年、運動の機会
- ・障がい者のスポーツにふれる・楽しむ機会
市民ボッチャ交流大会の実施
- ・プロスポーツ等との連携(VC長野トライデンツ)

【取組み2】競技力の向上



- 競技力向上に向けた取り組み
- 「ささえる」スポーツ指導者の養成
- 全国や世界で活躍する選手の育成・支援
- 全国大会等の招致



- ・競技力向上スポーツ教室・大会の充実
- ・国民体育大会をはじめとする全国大会の招致
- ・「ジュニアアスリート育成事業」の推進
小学校4年生以上、学校やクラブ活動では
学ぶことのできない身体教育・食育など

【取組み3】子どものスポーツ機会の充実



- 成長期に合わせた体力向上策の推進
- 多様なスポーツ環境の充実
- 家族のスポーツ機会の充実



- ・かがやけおかやキッズ
体力アッププログラム事業
市内小学1, 2年生へ体育専門指導員派遣
6回/年(1クラス) 体幹機能を育む
- ・おかや小学生体育塾
運動が苦手な小学生へ、遊びながら運動の
苦手を克服

【取組み4】スポーツ環境の整備・充実



- スポーツ施設の整備・充実
- スポーツ施設の効率的管理と有効活用の促進
- スポーツ施設のストック適正化計画による個別施設計画の策定



- ・スケートボード場を屋外水泳プール跡地を暫定使用
- ・諏訪スケートボード愛好者団体岡谷支部へ行政財産として貸付

スケートボード場利用者集計

R2年度 380 人/年間

R3年度 917 人/2021年11月時点(東京オリンピック以降増加)

【取組み1～4】達成指標 2020年度～2024年度(5年後を目指す)

●達成指標(市民ひとり1スポーツの実現)

指標名	現状 (令和元年度)	目標 (令和6年度)	備考
運動・スポーツ実施率	55.2%	65.0%	一定期間内に運動・スポーツをする成人の割合
週1回以上実施	55.2%	65.0%	
週3回以上実施	35.0%	35.0%	
スポーツをしない	21.6%	0に近づける	
スポーツ教室参加者数	4,855人 (平成30年度実績)	5,300人	市教育委員会主催教室参加者数
トップアスリート等による試合や講習会等の開催	1回	2回	

●達成指標(子どものスポーツ機会の充実)

指標名	現状 (平成30年度)	目標 (令和6年度)	備考
体力合計点	49.5点	51点台	
岡谷市スポーツ少年団登録単位団数	11団体	13団体	
岡谷市スポーツ少年団員数	219人	250人	

●達成指標(競技力の向上)

指標名	現状 (平成30年度)	目標 (令和6年度)	備考
全国大会に出場する個人・団体の数	29人・団体	40人・団体	国体、高校総体は除く(団体は1とする)
国民体育大会出場選手数	36人	38人	

●達成指標(スポーツ環境の整備・充実)

指標名	現状 (平成30年度)	目標 (令和6年度)	備考
スポーツ施設利用者数	431,064人	460,000人	

スケートボード場の使用ルール



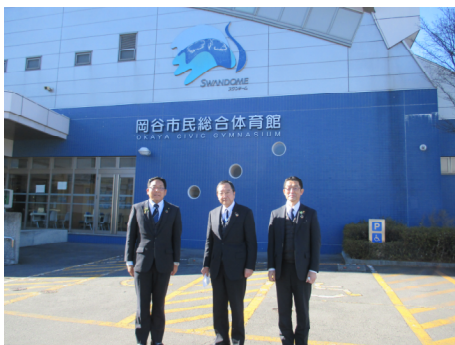
跡地の有効利用と青少年の健全育成に寄与する理由から減免

宮脇1

使用期間 通年

使用時間 午前9時～午後9時(夜間照明あり)

岡谷市 視察 まとめ



・スポーツを生涯健康で暮らす為の指標として、個々の取り組み内容に達成指標が設定されている。5年間でサイクルに取り組んでおり、その為の施設整備、イベント誘致、教育と全世代型の取り組みの為、目標が明確になっており市民の高揚感が伝わってくる。

・市民のライフスタイルに応じた自分に合った「するスポーツ」の充実が図られている。現状分析も数値で捉えており明確にされていて分かり易い。

・平成12年(2,000年) 当時から、スケートボード場については、若者の意見へ耳を傾けるが、マナー遵守や騒音問題など課題も多くそのための対応をどう検討するのか、せめぎ合いがあった。跡地利用の発想から今日の状況となっている事を理解した。行政財産の貸付というアイデアなど、随所で英知を結集しての取り組みに感銘した。地域課題へ、その解決策を考え実践された事に、飯田市へも反映できないかと、地域活性化とも紐づけていきたい。

「女性のデジタル人材育成」について ～塩尻市振興公社KADOの取り組み～



長野県 塩尻市の概要

人口：約67,000人
交通：新宿・名古屋から特急で2.5時間



塩尻市役所/塩尻市振興公社

人口：66,443人
(R3年4月1日現在)

世帯数：28,099 世帯

面積：290.18km²

市木「いちい」

市花「ききょう」

ぶどう、レタス栽培が盛ん

ワインの銘醸地

情報機器製造企業の本拠地

★女性のデジタル人材育成への取り組み

多様な働き方が地域を変える、「KADO(家で働くの意味)」の挑戦



*広報しおじり、塩尻市ホームページより転載

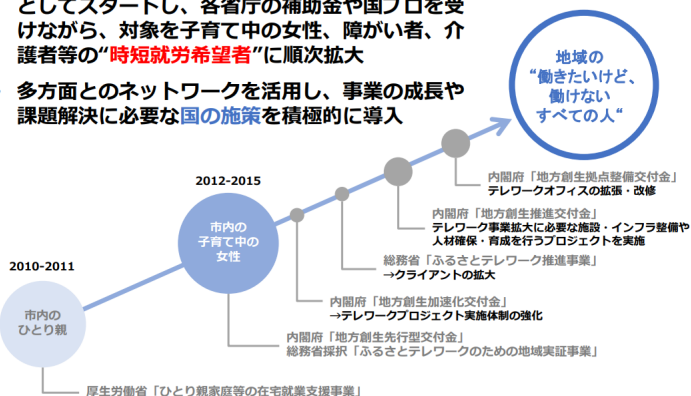
子育て・介護・障がい・etc
就労に時間的な制約のある人が
好きな時間に好きなだけ
安心して働ける仕組み

クラウドソーシング、テレワーク、コワーキング
を組み合わせた官民連携による
塩尻オリジナルの地域就労支援モデル

●事業経過

事業経過

- 2010年「ひとり親家庭等の在宅就業支援事業」
としてスタートし、各省庁の補助金や国プロを受けながら、対象を子育て中の女性、障がい者、介護者等の「時短就労希望者」に順次拡大
- 多方面とのネットワークを活用し、事業の成長や課題解決に必要な国の施策を積極的に導入



・平成22年(2010年) 厚生労働省の「ひとり親家庭等の在宅就業支援事業」の一環で、ひとり親向け事業としてスタート

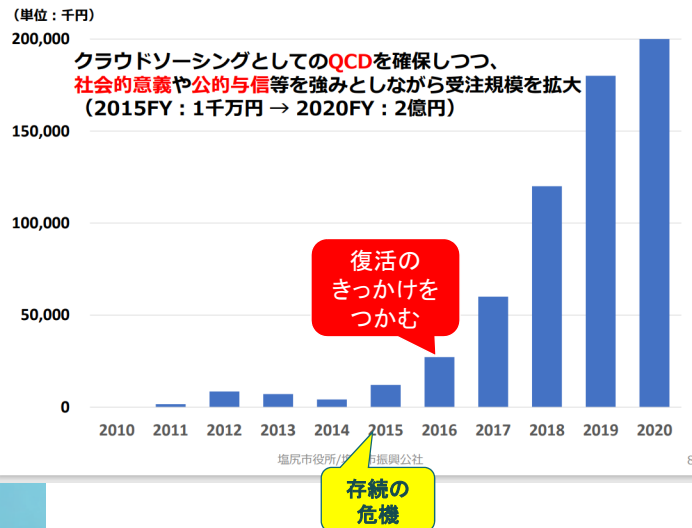
・「家事や子育てがあって自由に働けない」「障がいがあり長時間の就労が困難」などの声

・好きな時間に好きなだけ安心して働ける場を提供

・初めはPCの電源スイッチが分からない人が、1年半のITスキルの習得などで自信を持って仕事に向き合えるまでに成長し業務遂行

・登録者の9割以上は女性であり、女性の社会進出、社会参画へ貢献

●KADOの受注推移と課題



・KADOは、2012年テレワーカー枠を子育て世代へ拡大。しかし、クライアントからの業務受注が難航。2015年存続の危機に立たされる。

・2016年 * データアノテーション業務の受注に成功

(* AIや機械学習モデルの基となるデータを作成する業務)

・テレワーカーは、受注業務に合わせたスキル習得方式へ学習内容の変更を実施し改革を図る

■ 実働テレワーカー数

2014年度 30人



2020年度 523人(さらに規模拡大中)

●KADOの仕事の流れ



・クライアントからの受注を塩尻市振興公社が受け、自営型テレワーカーへ業務委託

・一部、就労継続支援事業所及びマネジメント事業所へ業務委託し、自営型テレワーカー、障がい者へ仕事が委託される

・各地域の行政機関によるサポート環境があり、コミットメントにて費用負担(予算措置)される

●主な受注業務

業務分類	業務内容
アノテーション	・ 画像認識AI教師データ作成
地図データ作成	・ 自動運転用 3次元地図データ作成
バックオフィス	・ 経理、調達、人事、財務等
自治体系業務	・ 各種データ入力 ・ コロナ経済対策サポート ・ ワクチン接種サポート ・ GIGAスクールサポート ・ DX関連業務（RPA、デジアナ変換等） ・ 実証実験サポート ・ ふるさと寄附業務オペレーション
その他	・ Webサイト構築、更新 ・ 各種事務業務 ・ Webマーケティングサポート

塩尻市役所/塩尻市振興公社

9

●主な受注業務 その1



・学校でのICT活用を

テレワーカーが支援

GIGAスクール構想の実現へ向け、
全国で広がりを見せるICT教育。
塩尻市では、KADOのテレワーカーが
学校を支援し、活用を活発化させている。

*広報しおじり、塩尻市ホームページより転載

●主な受注業務 その2



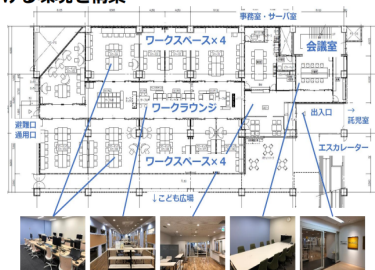
KADOが最先端技術を支える

自動運転技術に欠かせない「車両制御に使用する高精度3次元地図を作製」

●仕事環境

公共施設内で清潔感溢れるテレワーク環境を準備

- 市街地の公共施設内に**専用コワーキング施設**を整備し、同施設内のこども広場、託児所、商業施設等や、隣接する複合施設（図書館、ハローワーク等）とあわせ、安全安心かつ利便性の高い就業環境を整備
- 現在は、コロナ禍において働きやすさと安全性を両立するため、**専用コワーキング施設でのオフィス型ワーク**と**在宅ワーク**を組み合わせ、より柔軟に働ける環境を構築



専用コワーキング施設「塩尻テレワークセンター」（地方創生拠点整備交付金）

塩尻市役所/塩尻市振興公社



塩尻市こども広場（同フロア）



複合施設「えんばーく」（隣接）



6

●KADOが生み出す可能性



*広報しおじり、塩尻市ホームページより転載

働きたいけれど働く場所がない
人の受け皿に！

ニーズの多様化に伴い、専門的な業務
に注力できる体制づくりの強化

バックオフィス委託先として、選択肢に
なりうる強みを生かしていく

DX推進へ大きな可能性をもたらし、地
域のデジタル格差解消の原動力

●KADOの経営理念・目的

ひとりひとりのライフスタイルに応じた働く場を
みんなでつくることで地域社会に貢献する。



塩尻市 視察 まとめ



・ポストコロナを見据えて、サテライトオフィス誘致、テレワーク普及の先進地と目したが、もう一面、女性の就労支援、その為の職場環境の整備、そして女性のデジタル人材の育成という視点が重要と認識した。

・全国の実践がようやく塩尻市に追いついてきたと言えないか。

・UIターンの実践とも重なり、女性に光を当てた政策の重要性が、KADOの躍進で大きなヒントとなっている。

・「共創の場」と言われるが、KADOで働く職員の中で、クライアント企業とのやり取りで、まさに現実のものとなっていた。

ご清聴ありがとうございました

